月刊 グラフィックサービス令和2年10月10日発行（毎月1回発行）通巻827号

グラフィックサービス

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

JaGra

● 巻頭企画

日本自費出版文化賞受賞作決まる

大賞は那賀教史さんの『故郷の記憶』

● 連載

我が社の自費出版事情②

㈱清水工房（東京・三多摩）さんの事例

印刷産業における取引環境実態調査④

版画と謄写とこれから⑤

● NEWSとお知らせ

DTPオペレーション技能テスト募集開始！

ジャグラ業界功労者を9.16理事会で承認

GS

No.827
2020
10

だいせつにします プライバシー
審査機関(16)

GS
No.827
2020
10

電子版無料公開中！
スマホでも本誌が読めます
公式HPで本誌PDF版を公開中。紙媒体より1週間早い毎月中旬にご覧いただけます。バックナンバー閲覧もここから！

https://www.jagra.or.jp/

なかむら通信

読者の皆様へ

ジャグリストの皆さん、こんにちは。会長の中村耀です。

お元気でお過ごしですか？　お仕事の方は如何ですか？　一寸忙しくなったと思うと、またすぐ暇になり、経営者としては本当に気の抜けない毎日ですが、こういう時は余り深く考えることはせず、のん気に構えて、普段、出来ない事をしてみるのも大事かなと思うこの頃です。

Go To Travel も東京が加わり、現実には必ず良い方向に向かっていくと思います。くよくよしないで、一日一日動いていきましょう。必ず良くなると思います。少しずつ～!!

CONTENTS

●巻頭言

1 ジャグラとの関わりの始まりは青年部SPACE-21だった！
——ジャグラ理事/創文印刷出版㈱（宮城）　熊谷晴樹

●巻頭企画

2 日本自費出版文化賞受賞作決まる
大賞は宮崎市・那賀教史さんの『故郷の記憶』

●緊急のお知らせ（新型コロナ関係）

8 総務省作成のチェックリスト
中小企業等担当者向けテレワークセキュリティの手引き

●連載

12 印刷産業における取引環境実態調査④
事業の構造（顧客・提供価値など）
——経済産業省の調査報告書より

23 我が社の自費出版事情②
村上直 著『論集 代官頭大久保長安の研究』ほか
——㈱清水工房・揺籃社（東京・三多摩）　山﨑領太郎

26 版画と謄写とこれから⑤
—— Atelier 10-48 主宰/版画家　神﨑智子

●NEWSとお知らせ

5 ジャグラ業界功労者を9.16理事会で承認
発展功労賞は辻 / 森の両氏、業界功労賞は河上氏に

6 DTPオペレーション技能テスト募集開始！
締切 11 月末日、申込みはお早めに！

18 理事会＆委員会通信：9.16 第 4 回理事会
来年のジャグラ文化典近畿大会の中止を決定

20 業界の動き
日印産連が知的財産権Webページをリニューアル

21 Adobe Flash Player のサポートが今年いっぱいで終了

29 ジャグラBB　HOTNEWS

8 コラム
15 ジャグラBB番組予告
28 事務局日誌とスケジュール

月刊
グラフィックサービス
発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

巻頭言

ジャグラとの関わりの始まりは青年部SPACE-21だった！

ジャグラ理事 / 創文印刷出版㈱（宮城）　熊谷晴樹

この度、はからずもジャグラ理事となりました東北地方協議会宮城県支部の熊谷晴樹と申します。はからずもと言いましたのは、地協会長＝本部理事と言うことを意識していなかったからですが、なりましたからにはお役に立てるよう頑張ってまいりたいと思います。

この原稿の依頼を受け、何を書こうか悩みましたが、私がジャグラとどう関わってきたかを振り返ってみることにしました。

私とジャグラとの関わりの始まりは、ジャグラ青年部 SPACE-21 です。昭和も終わろうという頃に、青年部の全国組織を作ろうということで、全国の若手が集められ議論をしたことが始まりでした。（だいぶ昔のことですので記憶違いも多々あるかと思いますがご容赦ください）

その当時、宮城県支部青年部「青風会」の会長をしていた私も、宮城県支部長から命じられて参加をしました。何度も東京の本部事務局に集まり、また、当時はメールなどありませんから FAX でやりとりしながら設立の準備を進めていきました。

SPACE-21 の名称には、「同世代の若い業界人が 21 世紀に向かって勉強し合い、交流を深められる、そういう場（スペース）にしよう」という思いを、「SPACE」という英単語にあてはめたものだったと思います※1。

そうして平成元年に東京・晴海で「次世代の会設立準備大会」、翌年の平成２年７月に千葉・幕張で設立大会を開催して SPACE-21 がスタートしました。あれから 30 年の歳月が流れたとは本当に感慨深いものがあります。

その頃、日軽印（ジャグラの前身：日本軽印刷工業会）は業界ＣＩ※2を進めており、SPACE-21 は平成４年の熱海における全国代表者会議で幾つかの名称案の中から「日本グラフィックサービス工業会」を採択しました。いわばジャグラの名付け親の一端を担ったわけです。一部の先輩からは「軽印刷業がようやく製造業として認められるようになったのに“サービス”という言葉を入れるなんて」という声もありましたが……。

平成７年には３代目の代表幹事に選出されました。全国各地を訪問し、同世代の仲間たちと交流し、有意義で楽しい時間を過ごさせていただいたことは、現在でも大切な財産となっております。

平成 20 年に宮城県支部長に選出されて以来 12 年が経ちました。決して後継者がいなかった訳ではないのですが、なんとなく過ごしてきてしまったことを反省するばかりです。しかし企業においては私のところも含め、後継者不在というところが結構多いようです。事業の継続性を考えると頭の痛いところです。

現在は新型コロナウイルス禍も含め、大変な時代ではありますが、若い人たちが元気でいることが大変頼もしく感じているところです。この若い人たちへの世代交代を進め、ジャグラの新たな次代を作ってくれるだろうことを期待しております。

平成２年に千葉・幕張で開催された次世代の会 SPACE-21 結成大会

平成４年に熱海温泉で開催された SPACE-21 の全国代表者会議では、業界の新名称について真剣な討議が行われた

※1　「SPACE」は Service oriented Printing Aided by Creativity and Extensibility の頭文字をとったもので「創造性と拡張性に支えられたサービス化を志向する印刷業」を意味するが、これに次世紀を意味する「21」という数字をつけて、通産省（現・経産省）がまとめた『2000 年の印刷産業ビジョン』が描く未来の印刷産業像を実現しようという若手経営者の意気込みを表した。

※2　「もう“軽”の時代ではないだろう」という声を受け、平成元年の東京総会で「軽印刷の名称変更も含めた業界のイメージアップ」を進める事業計画を承認。当時は好景気による人材不足が深刻で、ＣＩに代表されるイメージアップ活動が花盛りだった。

巻頭企画

日本自費出版文化賞 受賞作決まる

宮崎市在住

大賞は那賀教史さんの『故郷の記憶』

第23回日本自費出版文化賞（ジャグラ主催、NPO法人日本自費出版ネットワーク主管）の最終選考会が9月初旬に行われ、宮崎県在住の那賀教史さんの『故郷の記憶』を大賞として選出、また併せて、部門賞7点、特別賞7点、入選55点も決定しました。

×

大賞決定までの経緯

同文化賞は日本自費出版ネットワーク（中山千夏＆川井信良代表理事）が運営するＨＰによる自費出版データの蓄積・公開活動と連動しながら、自費出版に光を当て、著者の功績を讃え、かつ自費出版の再評価、活性化を促進しようとするものです。今回は、昨年11月から今年4月までを募集期間とし、全国から寄せられた600点超の作品について、厳正なる審査が行われ、入賞作品が決定されました。恒例の表彰式はコロナ禍の影響で中止となりましたが、代わりに「特別な冊子」を作成し、受賞者の栄を讃えるとのことです。

●審査経過

募　集	2019年11月～2020年4月
一次選考	2020年4月～6月
	専門委員により306点を選出
二次選考	2020年7月18日
	70点の入選候補作品を決定
最終選考	2020年9月初旬
	最終選考委員※により各賞を決定

●応募状況

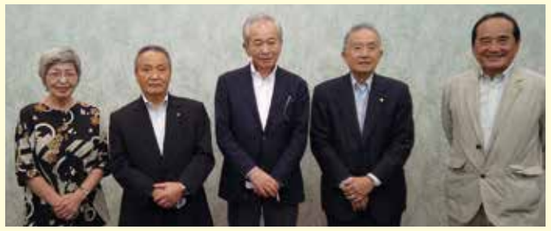
地域文化部門	86	個人誌部門	94
小説部門	114	エッセー部門	89
詩歌部門	81	研究・評論部門	86
グラフィック部門	53	**合　計**	**603**

受賞作品

次ページ以降のリストをご参照ください。なお、詳細は日本自費出版ネットワークのHPでもご案内しています。（https://www.jsjapan.net/）

※最終選考委員：鎌田慧、中山千夏、成田龍一、小池一子、佐藤和夫、藤野健一、秋林哲也

9月15日の受賞作品発表会の様子／吉祥寺・東急REIホテル



発表会にて　左より、岩根副代表※、中村会長、川井代表※、沖専務、山崎事務局長※

※印：NPO法人 日本自費出版ネットワーク

大賞×１点

凡例　●部門　受賞作品名／著者／著者住所／発行者・印刷所

●地域文化　**故郷の記憶 上巻 祈りと結いの民俗＆下巻 生業と交流の民俗**　那賀　教史／宮崎県宮崎市／鉱脈社・鉱脈社

部門賞×７点

●地域文化　**生きる－窪川原発阻止闘争と農の未来－**
島岡　幹夫／高知県高岡郡／島岡幹夫・高知新聞総合印刷

●個人誌　**また「サランへ」を歌おうね**
山本　友美／福岡県八女市／花乱社・シナノ書籍印刷㈱

●小説　**猌風（ひょうふう）**
竹本　真雄／沖縄県石垣市／沖縄タイムス出版部

●エッセー　**私の出逢った詩歌（上・下巻）**
進士　郁／東京都世田谷区／西田書店・平文社

●詩歌　**カロートの中－佐藤武詩集－**
佐藤　武／北海道札幌市／中西出版㈱・中西印刷㈱

●研究・評論　**東洋日の出新聞　鈴木天眼～アジア主義 もう一つの軌跡**
高橋　信雄／長崎県長崎市／長崎新聞社・昭和堂

●グラフィック　**天国へのパスポート－ある日の阿波根昌鴻さん－**
張ヶ谷弘司／千葉県柏市／張ヶ谷弘司・エリオ写真出版

特別賞（協賛各社賞）×７点

●地域文化　**コニカミノルタジャパン㈱賞**
北海道の森林鉄道
松野郷俊弘／北海道旭川市／松野郷俊弘・㈱アイワード

●個人誌　**㈱モリサワ賞**
リンケージ外交戦術－アラビア湾の架け橋となった日本人－
中村　公也／神奈川県横浜市／㈱ごま書房新社・創栄図書印刷㈱

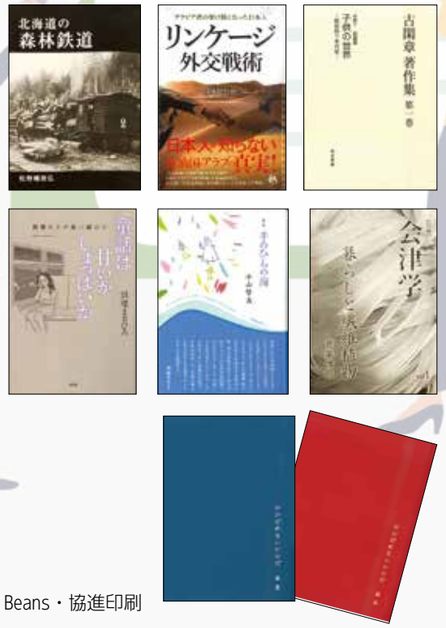
●小説　**ホリゾン・ジャパン㈱賞**
古閑章 著作集 第一巻－小説１ 短篇集 子供の世界－
古閑　章／鹿児島県姶良市／南方新社・イースト朝日

●エッセー　**㈱ショーワ賞**
童話は甘いかしょっぱいか－出版までの長い道のり－
浜尾まさひろ／東京都板橋区／瓜谷　綱延・㈱文芸社

●詩歌　**リョービMHIグラフィックテクノロジー㈱賞**
手のひらの海
平山　繁美／愛媛県今治市／本阿弥書店・日本ハイコム㈱

●研究・評論　**㈱大塚商会賞**
別冊 会津学 VOL.1 －暮らしと繊維植物－
菅家　博昭／福島県大沼郡／菅家博昭・奥会津書房

●グラフィック　**富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ㈱賞**
レシピのないレシピ
BitBeans、藤野嘉子、中本浩平、金井美稚子／東京都千代田区／㈲Bit Beans・協進印刷



入選作品× 55 点

●地域文化

桐生新町の時代―近世在郷町の織物と社会―／巻島隆／群馬県前橋市／群馬出版センター・藤原印刷㈱
あ、火の見櫓！－火の見櫓観察記－／平林勇一／長野県東筑摩郡／平林勇一・㈱プラルト
望郷－姫路広畑俘虜収容所通譯日記－／柳谷郁子／兵庫県姫路市／鳥影社・シナノ印刷㈱
不条理を生き貫いて 34 人の中国残留婦人たち／藤沼敏子／埼玉県川越市／津成書院・中央精版印刷㈱
富士山世界遺産登録へのみちのり／田畑貞壽・清雲俊元他／東京都三鷹市／山梨県「富士山世界遺産登録へのみちのり」編集委員会・㈱文伸
図説だんじり彫刻の魅力―岸和田と泉路で育まれた心と技―／だんじり彫刻研究会／京都府京都市／だんじり彫刻研究会・㈱グラフィック
Charlie's／守屋一於／東京都新宿区／㈱オードリー・ザ・デザイン・協友㈱

●個人誌

母の埋葬、父の消滅／野添美之／東京都武蔵野市／野添美之・藤原印刷㈱
寺田寅彦の光跡を求めて／四宮義正／徳島県板野郡／四宮義正・原田印刷出版㈱
根尾一族の歴史／根尾満／京都府京田辺市／根尾満・ケーシプリント
風の紋章－留置ナンバー・婦５５－／柳谷郁子／兵庫県姫路市／ほおずき書籍㈱・ほおずき書籍㈱
国破れても情愛に恵まれて―ベトナム人留学生の 46 年の軌跡―／南俊彦／兵庫県西宮市／㈱シンホシティ・㈱平田印刷所
増補版 少年の眼に映った満州－鞍山・七嶺子村の出来事－／手島清美／京都府京都市／サンライズ出版㈱・シナノ印刷㈱
雲水の行方や何処なるらん―望郷・在日無情―／曺小煥／兵庫県三田市／交友プランニングセンター・交友印刷㈱
ポチとタ一坊と焼夷弾―八王子空襲体験記／石井忠明／東京都八王子市／揺籃社・㈱清水工房

●小説

カレンシー・ウォー 小説日中通貨戦争／大薗治夫／東京都世田谷区／㈱オーズキャピタル・ブイツーソリューション
ケアハウス物語／野原めぐみ／沖縄県中頭郡／幻冬舎メディアコンサルティング・シナジーコミュニケーションズ
空気の質／岡野弘樹／兵庫県加古川市／澪標・モリモト印刷
闇の中の猿／石田正之／大阪府大阪市／風詠社・星雲社
角兵衛獅子の唱／玄間太郎／埼玉県三郷市／東京図書出版・㈱ブレイン
白木蓮／小澤房子／静岡県島田市／文芸社・㈱フクイン
安宅 正得丸の水主たち／宮藤等／青森県西津軽郡／㈱文藝春秋企画出版部・㈱フクイン
按針と家康／和田隆／長崎県佐世保市／芸文堂・エスケイ・アイ・コーポレーション

●エッセー

弓浜春秋／鈴木早苗／鳥取県米子市／鈴木早苗・㈲米子プリント社
そんな自分も許してあげる－私の社会不安障害とパニック障害－／秋野月美／千葉県四街道市／㈱風詠社・シナノ印刷㈱
雑文集 日向の匂い－『やまなみ』抄（二）／熊本玲子／山口県山口市／熊本玲子・㈱山口県農協印刷
チュウ太の旅・続チュウ太の旅／金澤豊子／岡山県高梁市／教友社
ゆりかごごっこ／小川クニ／岩手県岩手郡／小川クニ・㈱杜陵印刷
また会える、きっと／西出郁代／兵庫県尼崎市／㈱編集工房ノア・亜細亜印刷㈱
姑と私の七千日／智恵子／東京都渋谷区／㈱パレード・中央精版印刷㈱
山からのたより 養沢で林業とともに／池谷キワ子／東京都調布市／㈱清水工房・㈱清水工房

●詩歌

第一句集 むずかしい平凡／中村晋／福島県福島市／ BONEKO BOOKS・㈲吾妻印刷
歌集 みづおち／冨永多津子／京都府京都市／㈱風詠社・シナノ印刷㈱
涌井ひろみ歌集 碧のしづく／涌井ひろみ／東京都練馬区／ふらんす堂・日本ハイコム㈱
幻の森まで／森川龍志／愛知県長久手市／露滴房・ツゲ印刷㈱
句集 卒業／寺澤佐和子／東京都杉並区／ふらんす堂・三修紙工㈱
藤野章 歌集 あの日より／藤野章／宮城県仙台市／ NHK 学園・㈱ ArK
句集 冬銀河／市村栄理／東京都町田市／本阿弥書店・三和印刷
句集 花の川堤／梅沢仁治／埼玉県所沢市／揺籃社・㈱清水工房

●研究・評論

糸とファッション―糸を紡ぎ、布を織る道具・機械の発展とファッションの変遷―／日下部信幸／岐阜県各務原市／東京図書出版・㈱ブレイン
正法眼蔵第三 仏性 私釈－成仏以来に具足する法なり－／松岡由香子／滋賀県大津市／七つ森書館・精文堂印刷
本音で語る「伊豆の踊子」／菅野春雄／宮城県仙台市／ブイツーソリューション・藤原印刷
Mr．ドットマン－小野浩 全仕事－／ぜくう／東京都町田市／ゲー夢エリア 51・緑陽社
よだかの星―宮沢賢治を読む―／佐々木時雄／東京都府中市／新潮社／図書編集室・錦明印刷㈱
明治長崎清国水兵暴行事件／橋本秀一／東京都新宿区／㈱ブックコム（自費出版の会）
千家尊福伝－明治を駆け抜けた出雲国造－／村上邦治／千葉県松戸市／村上邦治・中川印刷㈱
邪馬台国吉備説からみた初期大和政権－物部氏と卑弥呼と皇室の鏡を巡る物語－／若井正一／静岡県掛川市／一粒書房・㈲一粒社

●グラフィック

吾輩は蛙 ただ今参上／滝川秀行／兵庫県丹波市／㈱諷詠社・シナノ印刷㈱
書の美－祈りのしずく－／菊池彩／京都府京都市／㈱春秋社・萩原印刷㈱
督太郎ワールド 昭和の懐－生きる－／元谷勤／鳥取県鳥取市／今井出版㈱・今井印刷㈱
横濱異文化記憶帳／町田昌弘／神奈川県横浜市／日本カメラ社・三報社印刷㈱
蘇る記憶 会津－ BOON ふるさとシリーズⅢ－／竹島善一／東京都練馬区／奥会津書房・㈱ヨシダコーポレーション
「すくぶん」南の島のナイチンゲール 眞玉橋ノブ物語／眞玉橋加奈子・松岡由香子／沖縄県那覇市／ MotherNurse 合同会社・丸正印刷㈱
心の庭の植物図鑑／小林重予×古家昌伸／北海道札幌市／小林香与・㈱アイワード
藤川温子のお菓子教室 The recipes I love to teach 私が教室で伝えたいレシピ／藤川温子／東京都三鷹市・米シカゴ／藤川温子・㈱文伸

お知らせ

ジャグラ業界功労者を9.16理事会で承認

発展功労賞は辻 / 森の両氏、業界功労賞は河上氏に

ジャグラ業界功労の受賞者が、9 月 16 日に開催された理事会にて承認を得ました。ジャグラ業界功労は、通常であれば 2 ～ 4 月に各地協・支部に推薦を求め、4 月決算理事会で承認を受け、ジャグラ文化典式典にて表彰されるスケジュールですが、コロナ禍の影響でジャグラ文化典高知大会が中止になったことを受け、11 月の全国協議会席上での表彰として、推薦期間を延長していました。その全国協議会も中止になりましたが、表彰そのものは行うことに決定され、今回の理事会での承認となったものです。受賞者は以下の 3 氏です。

発展功労賞
辻　紘一
㈱万成社／香川

先代の辻庄太郎氏の意思を引き継ぎ、業界のため尽力。その功績は高く評価され現在も香川県支部長として活躍している。

発展功労賞
森　宗明
㈱クリエイツ／大分

支部長および地協会長など歴任し、組合の発展に貢献した。

業界功労者

業界功労賞
河上　茂雄
日経マシナリー㈱／新潟

平成 15 年、新潟県支部事務担当者に就任して以来、永年にわたり会計・事務担当理事として支部運営に貢献した。

全国どこからでも受講できる
オンライン指導ご相談受付中

Illustrator・Photoshop・InDesign・Lightroom・Acrobat・印刷用 PDF・Dreamweaver・ウェブ基礎・ウェブアクセス解析・HTML・CSS・WordPress・JavaScript・Premiere Pro・After Effects・映像制作基礎　ほか全 36 講座

ジャグラ本部9F JaGraプロフェッショナルDTP&Webスクール

https://www.jagra.or.jp/school/

お知らせ

ジャグラ認定

略称：ＪＣＳＴ

DTPオペレーション技能テスト

募集開始！（締切 11 月末日、申込みはお早めに！）

ジャグラコンテスト委員会

ジャグラは DTP オペレーターの技能向上を目的とした
新試験制度 JaGra 認定 DTP オペレーション技能テスト
（略称 JCST：JaGra Certified Skill Test）をスタートします。
JCST は課題をもとに制作された DTP データをスコア評価し、
印刷物制作現場で即戦力として活躍できる
DTP オペレーション技能を有する人物を認定するとともに、
自身のオペレーション技能レベルを数値化することで
今後強化すべきポイントを把握することができるテストです。
課題データはインターネット経由で提出し、
審査員による評価をスコア表でお返しします。
皆さま奮ってご参加ください！

実務２年程度の初心者から
ベテランまで幅広く受験可能！

簡単受験＝ネットで課題提出！

受験者全員に採点スコアを返却
自身の課題ポイントが明確に！

認定基準を満たした方へ
「ジャグラ認定 DTP オペレーター」
の証書を発行！

ＪＣＳＴの受験をお勧めします！ —— ジャグラコンテスト委員会 委員長　笹岡　誠

2015 年から毎年開催してきたジャグラコンテストですが、新型コロナ感染が終息しない今、東京のジャグラ本部で第２次審査の実技試験を行うことは難しいとの判断から、今年度は開催を断念することになりました。このような背景の中、コンテストとは別の形で DTP オペレーターのスキルアップに貢献できないかと発案されたのが、新しい技能試験「JaGra 認定 ＤＴＰオペレーション技能テスト（略称 ＪＣＳＴ：JaGra Certified Skill Test)」です。JCST は実務経験２年以上の DTP オペレーターを対象としているため、初心者でも取り組むことができる課題内容となっています。もちろん会員各社が得意としている分野は千差万別なので、なかには普段の業務で経験したことがない課題が出題される場合もあると思いますが、試験を受けることで DTP オペレーターとしての力量を客観的に知ることができ、また新しい技能を学ぶきっかけになりますので、積極的にチャレンジしていただきたいと思います。ジャグラコンテストのように点数により順位を争うことはありませんので、「競争は好きではない」「上位に入る自信がない」などの理由でコンテストへの参加を躊躇していた方も、ぜひ JCST の受験をご検討ください。

募集要項

JCST

募集期間

10 月 22 日（木）～ 11 月 30 日（月）

応募方法

JCST 特設サイトよりご応募ください。
https://www.jagra-contest.com/jcst/
※応募にはメールアドレスが必要です

受験対象者

おおむね業務歴２年以上の方
※実務経験がない方もチャレンジしていただけます

参加費（税込）

ジャグラ会員　8000 円
会員外　　１万円
※企業単位での団体受験と個人受験が選択可能

応募後のスケジュール

受験票送付開始：12 月１日（火）～７日（月）
課題用データ配布開始：12 月８日（火）
課題提出締切：１月 19 日（火）
スコア表返却：３月下旬

テスト内容

① Adobe InDesign とそれに付随する印刷物制作に関する技能テストを実施
②制作課題を４問出題
③ Adobe InDesign およびリンクファイル、その他課題要項の指示に従い、必要ファイル一式を提出
④課題出題より約１か月後にインターネット経由で課題を提出、約２か月後にスコア表を返却
⑤第１期は Adobe InDesign の試験のみを実施、今後他のアプリケーションに関する技能テストも追加予定

JCSTとジャグラコンテストの違い

①ジャグラコンテストは点数により順位をつけるが、JCST は順位をつけない
②ジャグラコンテストはジャグラ本部で第２次審査実技試験を実施するが、JCST は実技試験を実施しない
③ジャグラコンテストは競技であるため、知識とテクニックを駆使しなければ高得点を狙えない難解な設問が出題されることがあるが、JCST は技能評価を目的とした設問のみを出題する

JCSTスコア表

①受験者が自身のスキルを客観的に把握できるよう、受験者宛にスコア表を返却します。
②スコア表では、点数に応じた技能レベルを５段階で示し、認定基準を満たした方へは、ジャグラ認定 DTP オペレーターであることを証明する証書を発行します。
③課題の採点項目と採点基準を一覧表で掲載するとともに、各項目の採点結果を○△×で明示。今後のスキルアップに役立つヒントをアドバイスします。

JCST特設サイト＆Twitter

JCST 特設サイトでは、応募フォームや課題のダウンロードをはじめ、募集要項、Q&A など、受験者向けの詳細情報を掲載します。また、Twitter では特設サイトの更新情報やコンテスト事務局からのお知らせを掲載します。ぜひご覧ください。

◎特設サイト &Twitter はこちらです

https://www.jagra-contest.com/jcst
https://twitter.com/JCST77840068

お知らせ：新型コロナ対策 続報

総務省作成 中小企業等担当者向け テレワークセキュリティの手引き（チェックリスト）

総務省は、新型コロナウイルスの感染拡大予防の観点等から中小企業等においてもテレワークの導入が広まる中で、最低限のセキュリティを確実に確保してもらうための手引き（チェックリスト）等を作成しました（9.11 公表）。

×

総務省は企業等がテレワークを実施する際のセキュリティ上の不安を払拭し、安心してテレワークを導入・活用するための指針として「テレワークセキュリティガイドライン」を策定・公表してきましたが、新型コロナ対策の観点等から、中小企業等においてもテレワークの導入が広まる中で、従来のテレワークセキュリティガイドラインに加えて、より実践的かつ具体的で分かりやすい内容の資料について必要性が高まっていました。

こうした状況を踏まえ、今般、セキュリティの専任担当がいないような中小企業等におけるシステム管理担当者（専門用語について仕組みの詳細まではわからないが、利用シーンがイメージできるレベルの方）を対象として、テレワークを実施する際に最低限のセキュリティを確実に確保してもらうための手引き（チェックリスト）等を作成し、公表したものです。

●公表資料

①中小企業等担当者向けテレワークセキュリティの手引き チェックリスト／初版

②設定解説資料

Cisco Webex Meetings ／ Microsoft Teams ／ Zoom

※具体的な環境で実施する際の参考となる補足資料です。

上記資料を下記で公表しています。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/telework/

Column コロナ禍追い風に地域貢献事業拡大

e- 中小企業ネットマガジン Vol.944 より転載（https://mail-news.smrj.go.jp/）

MediArt（滋賀県長浜市）は、滋賀県の湖北地域を拠点に、地域企業が取り扱う県産品などの魅力を再発見・発信することで販路拡大をサポートしている地域特化型商社。2016年1月の創業以来、各種イベントの企画・運営、クラウドファンディング、WEB サイト製作、SNS・広告活用支援コンサルティングの4事業を主力に展開している。

新型コロナウイルス感染症の影響で多数の事業者の業績が悪化する中、コロナ起因で増大した支援需要を吸い上げることができたため、同社に大きなダメージはなく、むしろクラウドファンディングの相談案件が増加した。コンサルティング業務も、事業継続に関する経営判断を迫られた旅館、飲食店などからのオンラインによる依頼案件が伸びている。

植田淳平代表は、コロナ禍で経済社会活動の休止を余儀なくされた事業者が、多くの支援を必要としている窮状に接した4月、これまで以上に地域に貢献しようと BUYLOCAL BIWAKO Area E プロジェクトおよび BUYLOCAL プロジェクトの2つの新規事業を立ち上げた。

BUYLOCAL BIWAKO Area E プロジェクトは、飲食店の再開後を想定して、飲食チケットの先行予約を受け付けるクラウドファンディング。宮崎県の事業者が発案した「BUYLOCAL」という事業の可能性に共感して参加した。近江八幡市の事業者に提案したところ、滋賀湖東エリアの飲食店11店舗が集まり、店舗同士のつながりまで生まれて成功した。

一方の BUYLOCAL プロジェクトは、買うこと自体が事業者の応援になるというコンセプトで地域の消費行動を喚起する事業。自社サイトで地域消費につながる取り組みを紹介したうえ、SNS への投稿やポスター配布で後押しした。地域展開している総合スーパーはじめ、熱意のある地元事業者との連携関係が構築できただけでなく、滋賀県や長浜市、米原市などの地方自治体から今後の連携に関する相談まで舞い込むという想定以上の成果をもたらした。

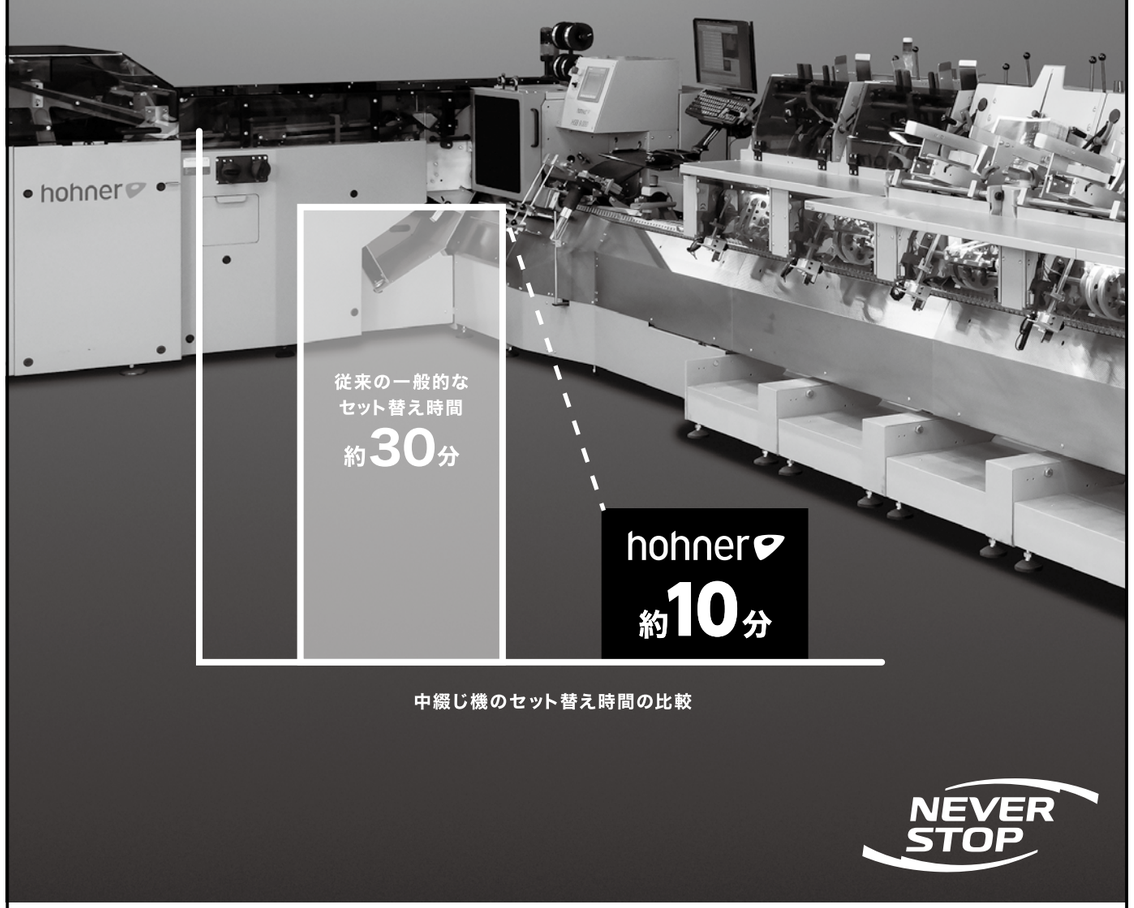
他方、事業者に地元のインフルエンサーの活用を促すマッチングサービス「あふみの」も提供している。地域イベントや商品紹介などでインフルエンサーマーケティングを試行して、マッチング率の高い人材が発掘できたら採用を促す取り組みだ。インフルエンサーの雇用条件は、テレワークやフレックスタイム制などを組み合わせて、各自のライフスタイルを崩さない範囲で提示する。植田代表は「地域イベントで得た情報を発信するインフルエンサーの存在価値は、特に地域の若い購買者にリーチしたい事業者らにとって大きいはず。情報や需要の若年層への拡大を強化して、地域の事業者と若者をつなげる架け橋になりたい」と新規事業の効果に期待している。

地域の消費が回復するにつれて「地元で何かしたい」と思う事業者が増えてくるとも予想して「今までにない地域の事業を創出するという当社の使命をより高次元で果たしていく。利益は地域に投資する」と事業意欲を新たにしている。

FUJIFILM
Value from Innovation

セット替え時間、3分の1。

欧州販売シェア2年連続No.1※の実績を誇る、独ホーナー社製中綴じ機。
中綴じ製本の生産性を劇的に高める、次世代の世界標準。
※当社調べ。



中綴じ機のセット替え時間の比較

NEVER STOP

FFGS POSTPRESS SOLUTION
ホーナー社製 中綴じ製本機 HSBシリーズ

■実機見学をご希望の方は、担当営業へご連絡いただくか、
QRコードから“ホーナー社製中綴じ機見学希望”と記入してお申し込みください。

ホーナー社中綴じ製本機 国内総代理店
富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

多言語ユニバーサル情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

Japan. Endless Discovery.

多言語に対応したデジタルブックを簡単に作成 手軽に配信・快適に閲覧

あらゆる紙媒体をデジタル化し、スマートフォンやタブレット端末に手軽に配信。さまざまなシーンにおいて、時間・場所・言語にとらわれず、情報発信から閲覧環境まで、ワンストップで最適な環境を提供いたします。

快適なユーザ体験をもたらす 多彩で豊富な機能を搭載

- テキストウィンドウ表示
- 自動音声合成機能
- SNS連携機能
- ログ解析機能
- 配信エリア指定
- 本文検索機能
- 高性能翻訳エンジン

JPSA JAPANESE PARA-SPORTS ASSOCIATION モリサワ

モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

www.morisawa.co.jp

詳しくは エムシーカタログ

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。 ●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。

東京リスマチック株式会社
なんでも相談窓口
プリントデスク 0120-269-132
平日(月～金) 9:00～17:00 E-mail : support@lithmatic.co.jp

プライバシーマーク 16190016(07)

Lithmatic
http://www.lithmatic.net

経済産業省の調査報告書より

|図|説| 印刷産業における取引環境実態調査

第4回：事業の構造（顧客・提供価値など）

本誌では７月号より、経済産業省が「印刷産業の取引実態の現状を把握し、持続可能な印刷産業への方策を探る」ためにまとめた報告書を連載しています。今月は「事業の構造」の部分から、主要なデータを抜粋して紹介します。

×

報告書では本章の冒頭にサマリー（要約）が記されていますので、先ずそれを紹介します。

印刷会社の事業の構造（サマリー）

提供サービスとして印刷業外を担う企業もおり、利益率は高い傾向
顧客として印刷企業が多く、特に小規模事業者に「まわし」が目立つ

◎印刷に限らず幅広い工程を担う企業も存在
当該群は利益率も高い傾向

①フルフィルメントや DM 効果分析など、印刷業外のサービスを担う企業も存在
②当該群は印刷関連業のみ手掛ける群より、売上の年平均成長率で 1.8pt、営利率で 1.8pt ほど経営状況が良い
③今後、提供したいサービスとして、「主にマーケティング系の顧客業務支援」「デジタル系の商材投入」「協業による包括的対応」など、印刷業外に手を広げたい意向が窺える

◎印刷企業への再委託も一般的
特に小規模事業者が自社で担えない領域を委託

①取引経験のある業種のうち、トップは印刷業界で、71% の事業者が印刷企業から受注経験あり
②売上構成比で見ても印刷企業が最大（約 2 割）。また中小は官公庁・学校などの売上構成が大きい傾向
③従業員数 19 人以下の事業者にて、再委託を含む案件の割合が高い。理由は自社で担えない印刷方式・工程の委託が挙げられている
④そのため、中小にて自社の不慣れな印刷方式・工程への委託額も安く見積り過ぎていないか、またマージンを乗せて顧客に請求できているか、など懸念される

◎商圏は車で 30 分以内の範囲（20㎞ 圏内）が主

①７割の事業者の主要商圏は 20㎞ 圏内
②一部、Web 受注などによって県外からの需要を呼び込み

「印刷産業における取引環境実態調査」に関する報告書

経済産業省 HP よりダウンロード可能
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/contents/2019_printing_surveyreport.html

提供サービス①

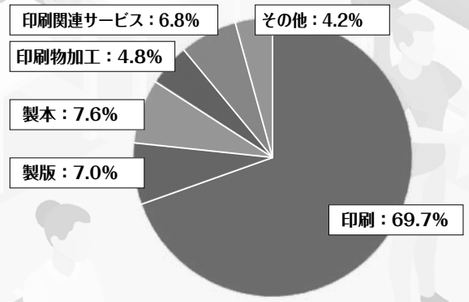
回答社の7割は「印刷」工程が主な収入源
また7割はプリプレス領域、4割は物流等の印刷業外領域も手掛けている

●手掛けている印刷工程（N903/MA※）

印刷・同関連業	プリプレス	企画・編集・デザイン	640（69%）
		組版・DTP・製版	674（73%）
	プレス	刷版	628（68%）
		印刷	821（89%）
	ポストプレス	製本	566（61%）
		加工（光沢など）	261（28%）
		印刷関連サービス	83（ 9%）
印刷業外		印刷後の物流	383（41%）
		印刷後の包装・ラベル・配布	408（44%）
		印刷後の施策効果分析	41（ 4%）
		その他	86（ 9%）

※ N 数は回答社数、SA は単一回答、MA は複数回答可

●うち売上構成比が最大の工程（N501/SA）



「組版・DTP ・製版」「刷版」を製版に、「企画・編集・デザイン」「印刷関連サービス」「物流」「包装･ラベル張り･配布」「施策効果分析」を印刷関連サービスに分類している

提供サービス②

印刷業外も手掛ける企業群の方が、成長率・営業利益率とも比較的高い傾向

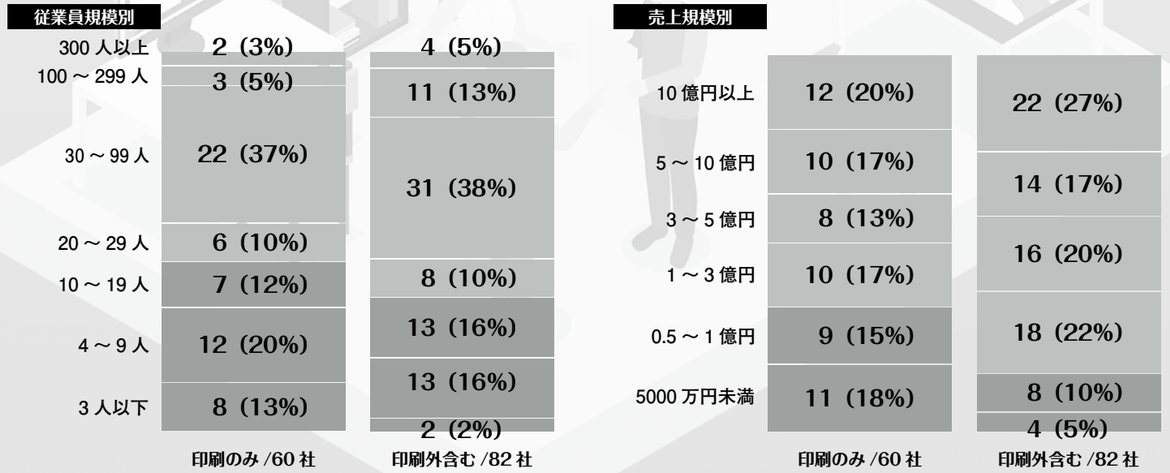
●提供サービスの幅ごとの経営指標比較（N140）

	印刷業	印刷業外	売上年平均成長率	営業利益率
印刷業外も手掛ける 78社	✓	✓	▲0.6%	2.2%
印刷業のみ手掛ける 62社	✓		▲2.4%	0.4%

提供サービス③

印刷業外も手掛ける企業に、一定数の小規模企業も含まれる

●提供サービスの幅ごとの事業者グループ比較（N142）



提供サービス④

今後、提供したいサービスとして、印刷外ではマーケティング系の顧客業務支援／デジタル系の商材投入／他社との協業提案が挙げられた

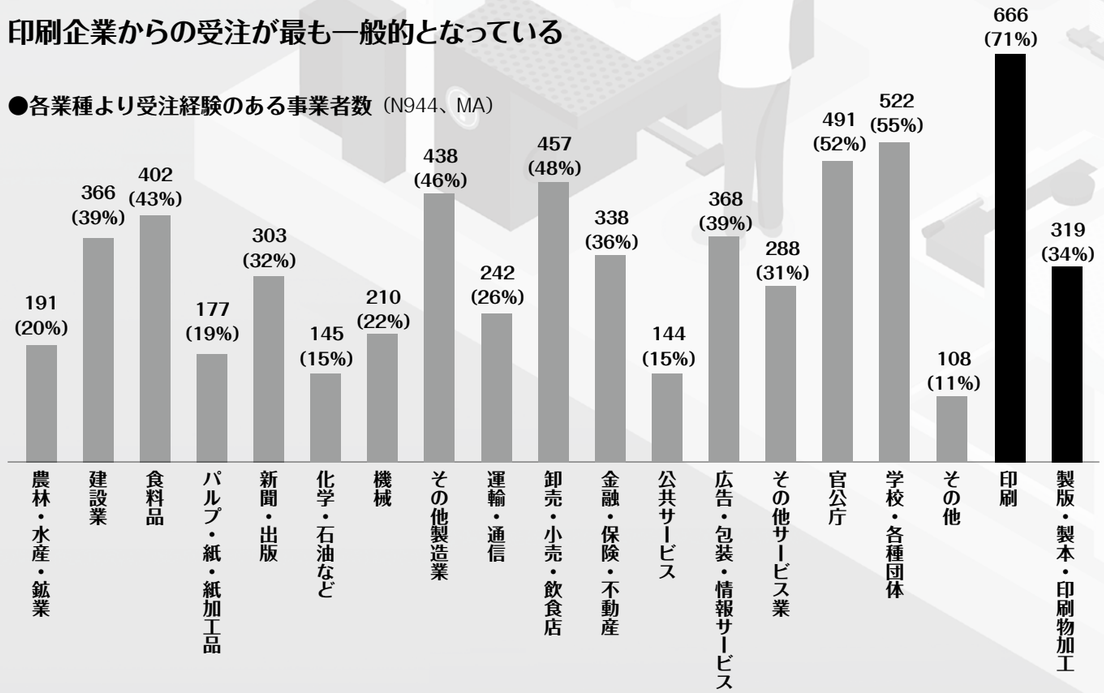
●今後提供したいサービス（自由記入コメント）

カテゴリ	提供したいサービス	提供したい理由
印刷ラインナップの拡大 （高付加価値／ニッチ志向）	①オンデマンド印刷、極小ロット対応 ②箱物印刷 ③箔押・エンボス加工、など	①他社と差別化するため ②付加価値を高めるため
既存工程の高度化	① Web 受注、Web to Print ②外注工程の内製化（製版・ラミネート加工等） ③ワンストップサービス	①利便性を高めて受注を増やすため ②収益性を高めるため ③一括対応は顧客ニーズがあるため
印刷外のサービス提供 ※ BPO:Business Process Outsourcing 企業活動における業務プロセスの一部について、業務の企画・設計から実施までを一括して専門業者に外部委託すること	**主にマーケティング系の顧客業務支援・代替** ①マーケティング・企画・デザイン・商品づくりの支援 ②印刷後の発送・DM 手配・効果測定 ③ BPO※	①フロント業務、周辺業務から顧客を囲い込みたいため ②顧客の売上増に貢献できるため ③ DM 等エビデンスに基づく受注が可
	デジタル系の新商材投入 ①電子書籍、HP 作成、動画制作、AR 対応、など	①印刷だけでは厳しく、紙 +Web+ 動画など、伸びる市場と組み合わせたい
	協業による包括的サービス提案 ①他社と協業した一括受注 例）総会・イベント企画を一括で受け、宿泊や観光は市内業者が実施、印刷関連を自社で担う等	①一括受注にて高単価化を狙うため ②協業により、提案できる案件数を増やせるため

ターゲット顧客①

印刷企業からの受注が最も一般的となっている

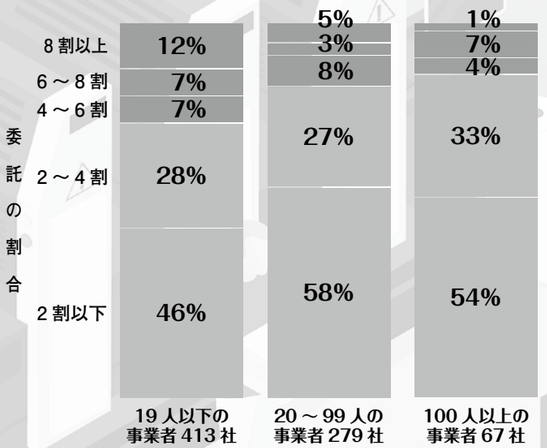
●各業種より受注経験のある事業者数（N944、MA）



ターゲット顧客② 印刷企業間での受発注構造

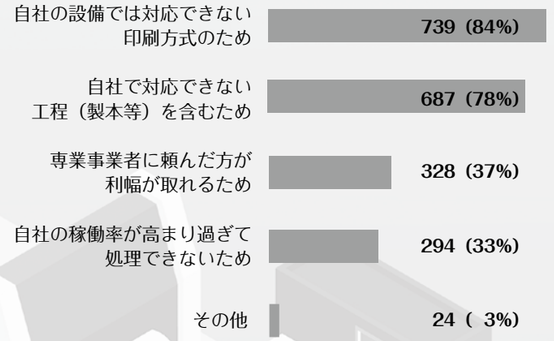
委託する側では、特に小規模事業者が自社では担えない印刷方式・工程を外注する傾向

●他印刷企業への再委託を含む案件割合（N759、SA）



※小規模の事業者において再委託が多い傾向

●再委託する理由（N=879、MA）

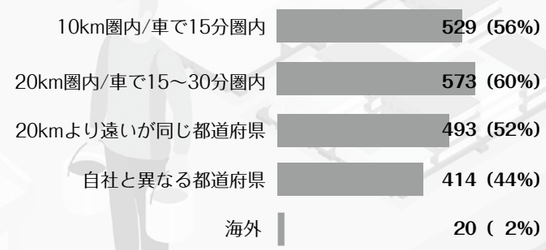


※自社で担えない印刷方式・工程の再委託が一般的

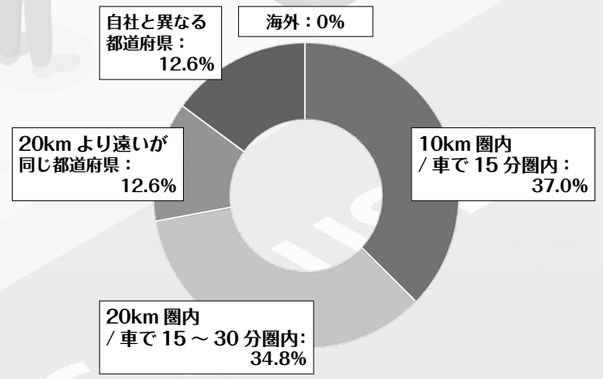
営業活動：主な営業範囲・商圏

商圏は車で30 分以内の範囲が主
一部、Web受注等による県外からの案件が存在

●顧客の所在地（N950、MA）



●うち売上構成比の最も大きい顧客（N454、SA）



お知らせ

ジャグラBB番組予告「ウイズコロナ、アフターコロナ時代　我々はどの様に生き残るか！」

中止となった全国協議会の代わりに、上記テーマで緊急座談会を実施し、ジャグラ BB で配信することが決定しました！

●第１部「デジタルやインターネット技術を駆使して、新たな市場や事業に進出し、会社を益々成長発展させていきたい」
●第２部「これからも私達の原点である印刷物にこだわり、地域密着にこだわり、お客様の笑顔にこだわり、従来の仕事をレベルアップし、成長していきたい」

配信は 12 月を予定しています。乞うご期待！

※出演予定：㈱クイックス、㈱みやもと、㈱緑陽社、㈱アーツ、㈱ニシキプリント、㈱リーブル、㈲大橋印刷商会、キング印刷㈱、㈱河内屋、㈱ＴＯＰ印刷、㈲松永印刷

RICOH
imagine. change.

基本性能を
追求した
Pro の最高峰。

多様化するニーズに対応し、ハイクオリティな印刷を続けられるタフな生産機。
生産性を高める高速出力、滑らかな高画質、高精度なレジストレーション、
幅広い用紙対応力など磨き上げた基本性能に加え、新技術 IQCT* for High-End による印刷品質の自動安定化と
印刷前の調整作業の省力化により、デジタル印刷ビジネスを強力にサポートします。
リコーの新たなフラッグシップモデル RICOH Pro C9200 シリーズの登場です。

RICOH Pro C9210/C9200

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

*Inline Quality Control Technology ※写真はRICOH Pro C9210 にオプションを装着したものです。

プロ、体感。	RICOH Printing Innovation Center ショールームスペース	RICOH Pro をはじめ、プロダクション プリンティング ビジネスの新たなソリューションをご覧いただけます。また DTP セミナーも定期的に開催中。 お問い合わせ：050-3534-2121 ※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。
この広告は、リコーが提供する新しいクラウドサービスである RICOH Clickable Paper サービス*に対応しています。	＊ iPhone/iPad/Android™ アプリケーション『RICOH CP Clicker』（無料）をダウンロードし、広告を撮影（クリック）すると、商品のスペシャルサイトなどインターネット上の関連情報をご覧いただけます。	株式会社リコー　〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6 リコージャパン株式会社 〒105-8503 東京都港区芝 3-8-2

※iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。※AndroidはGoogle Inc.の商標です。

Horizon
Change the focus

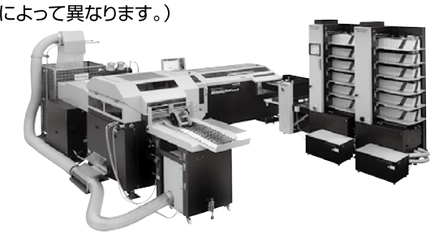
「理屈」で考えるワークフロー、ポストプレスにフォーカスしてみませんか

四六判半裁全自動紙折機+横型プレススタッカー
AFC-566FKT+PST-44

大型カラータッチパネルを搭載し、用紙を1枚挟むだけで、全ての設定を数十秒で行います。便利なワイヤレスリモコンを標準装備し、操作パネルから離れている場所でも操作できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム
StitchLiner MarkⅢ

厚みの異なる冊子に応じて各部を自動で調整、作業を中断することなく安定した高品質な製本を実現。A4S綴じ冊子は最高6,000冊/時間、A4E綴じ冊子は最高5,300冊/時間で処理することが可能です。（製本速度は紙質や紙の厚さによって異なります。）



自動無線綴機4クランプタイプ
BQ-480

セット替えの高速化による、小ロット、バリアブル製本での高生産性を実現。1冊ずつ厚みの異なるバリアブル製本を最高で時間800冊で処理することが可能です。

PUR対応

全油圧断裁機
APC-610

幅61cm、厚さ10cmまで一度に断裁でき、プレッシャとともに、カッティングも油圧式で強力です。

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本　　社　〒101-0031　東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F　TEL.03(3863)5361(代)　FAX.03(3863)5360
東京支社　〒132-8562　東京都江戸川区松江5丁目10-9　TEL.03(3652)7631(代)　FAX.03(3652)8083
京都支社　〒601-8206　京都市南区久世大藪町510　TEL.075(933)3060(代)　FAX.075(933)4025
福岡営業所　〒813-0034　福岡市東区多の津4-12-17　TEL.092(626)8111(代)　FAX.092(626)8112

議事録抄録

理事会&委員会通信 ジャグラの活動報告です

9.16 第４回理事会議事録より

来年のジャグラ文化典近畿大会の中止を決定

ジャグラは9月16日､本部とネット会議にて理事会を開催し、今年のジャグラ文化典高知大会に引き続き、来年の近畿大会の中止を決定した。なお今回は、地協会長と事業委員長に臨席を求めての開催となった。

×

第一号議案　役員の派遣・スケジュールに関する件

省略→巻末事務局日誌を参照してください

《検討の経緯》 満場一致で承認した。

第二号議案　全国協議会に関する件

11 月 13 ～ 14 日に開催予定の全国協議会は、コロナウイルス感染拡大防止のため､中止することになった。その代わりに、With コロナ、After コロナをテーマとした Web 座談会を実施したい。**→詳細省略。本誌にて別途ご案内します。**

《検討の経緯》 満場一致で承認した。

第三号議案　ジャグラ文化典近畿大会に関する件

来年 6 月 4 ～ 6 日に開催予定のジャグラ文化典近畿大会について、8 月 28 日に実行委員会で話し合いが行われた。その結果を受け 9 月 10 日の総務委員会で検討を行った。

［主な意見］

岸運営委員長より実行委員会で検討したが、①参加者の安全確保が難しい、②収容人数を減らすため一人当たりの参加費が高額になってしまう、③広告収入が見込めない、などの理由により近畿大会の主管を辞退したい。加えて、岡実行委員長からは、④実行委員会が集まることが難しい、との発言があった。

《検討の経緯》

検討の結果、来年の近畿大会は中止とすることが満場一致で承認された。総会および式典の実施については総務委員会で検討する。

第四号議案　高知大会記念誌の件

コロナ禍の影響で中止となった本年のジャグラ文化典高知大会について､11 月上旬の完成を目指し､記念誌を作成している。頁数 32P、印刷部数 1300 部、広告費は 135 万円でほぼ予定通り集まっている。

《検討の経緯》 満場一致で承認した。

第五号議案事業の推進体制に関する件

事業の推進体制について、以下、委員の追加を行いたい。

①経営技術研究委員会　竹内　正敏（愛知）

②広報委員会　　米田　和秀（関東複写）

《検討の経緯》 満場一致で承認した。

第六号議案　事業報告に関する件

※編集部注：事業報告については、本「委員会通信」および企画記事として都度紹介しているので、未報告のものを抜粋して掲載します。

1）総務委員会

①事業及び委員会構成について：委員会構成を決めた。総務委員会の下に、ビジネス拡大事業、経営基盤事業、コミュニケーション事業、広報事業、コンテスト事業、クロスメディア研究事業の 6 個の事業に再編する。そして各事業の下に委員会がぶら下がる形となる。その後、各委員会の担当理事と委員長を決めた。

②委員メンバー募集：印刷物創注委員会、マーケティング委員会､生産性向上委員会､経営技術研究委員会､広報委員会､ジャグラ BB 委員会、 年賀状コンテスト委員会について、会員から委員メンバーを募集した結果、28 名の応募があった。

2）マスターズクラブ

11 月 11 日に予定していたマスターズゴルフ大会だが、コロナ禍の影響により中止となった。

3）SPACE-21

① 11 月に鹿児島で開催予定だった全国協議会は中止。来年改めて鹿児島で開催する。

②協議会の代替イベントとして、高知での座談会を企画している（安全対策は十分にとる）。翌 8 日は観光。

③協議会中止により 30 周年記念式典も中止となった。代替行事の開催は未定。記念ピンバッヂの作成は予定通り行う。また、記念誌の作成準備を行っており、昔の写真を集めている。

④全国キャラバンは、来年 2 月（中四国九州）、4 月（名古屋）での開催を予定している。

4）DTP 教室

①コロナ禍の影響で、4 ～ 6 月まで来場型スクールを完全休校した。

②7 月より来場型講座の募集を再開したが、安全対策を施したうえ、10 名定員の教室を 5 名定員で当面運営する。

③東京都の「感染拡大防止協力金」第 1 回目＆ 2 回目に申請し、計 100 万円の支給を受けた。

④スクール設備の iMac（9 年使用）を 8 月に新機種へ入れ替えた。旧 PC で状態の良いものを希望者に低価格で譲ることを検討している。

5）個人情報保護委員会

①プライバシーマークの普及

4 月以降の実績は次のとおり（受付数／現地審査数／認定数）

4 月：14 社／ 6 社／ 0 社

5 月：7 社／ 0 社／ 12 社

6 月：7 社／ 7 社／ 0 社

7 月：8 社／ 13 社／ 8 社

8 月：0 社

②個人情報保護の推進

8 月 25 日に個人情報保護ネットセミナーを開催した。

・日時　8 月 25 日、午後 4 時～ 6 時、於 本部

・内容

第一部「改正個人情報保護法の概要」

第二部「コロナ禍の個人情報保護、情報セキュリティの経験交流

・講師およびパネラー

第 1 部：矢田晴之（内閣府 個人情報保護委員会 企画官）

第 2 部：尾形文貴㈱みつわ＝千葉)､野田晃司㈱ジェーピークリエイト＝東京・千代田)、江曽政英（第一資料印刷㈱＝東京・新宿）

6）委員長会議

①委員会の予算は交通費も含めて予算内での執行を実施する。交通費の采配は担当理事と委員長が決める。2 年間の中で何らかのアウトプットをする。もし、特別な理由で予算を超える場合は事前に事務局に申請し、会長、専務の承認を得る。

②委員会交通費を削減するため、ZOOM によるネット会議を推奨する。ジャグラでは現在 3 アカウントを所有しているため、同時に 3 つの会議が開催できる。

③ 6 月 8 ～ 23 日にかけて、理事及び会員企業に対し委員メンバー募集を行った。結果 28 名から応募があった。担当理事、委員長で相談し、委員メンバーを決めた。応募した人はすべていずれかの委員会に参加してもらう。

《検討の経緯》 満場一致で承認した。

第七号議案　その他に関する件

組織拡大表彰､業界功労表彰および優良従業員表彰について、以下の通りとしたい。（支部名：入会／退会／増減／報奨金）

◎組織拡大表彰

神奈川：3 社／ 1 社／ +2 社／ 2 万円

東京・新宿：4 社／ 0 社／ +4 社／ 4 万円

東京・文京：2 社／ 0 社／ +2 社／ 2 万円

東京・城西：1 社／ 0 社／ +1 社／ 1 万円

和歌山：2 社／ 0 社／ +2 社／ 2 万円

愛媛：2 社／ 1 社／ +1 社／ 1 万円

◎業界功労表彰

①発展功労賞：辻　　紘一（㈱万成社／香川）

先代の辻庄太郎氏の意思を引き継ぎ業界のため尽力。その功績は高く評価され現在も香川県支部長として活躍している。

②発展功労賞：森　　宗明（㈱クリエイツ／大分）

支部長及び地協会長など歴任し、組合の発展に貢献した。

③業界功労賞：河上　茂雄（日経マシナリー㈱／新潟）

平成 15 年、新潟県支部事務担当者に就任して以来、永年にわたり会計・事務担当理事として支部運営に貢献した。

◎優良従業員表彰

赤間幸太郎（㈱東北プリント／宮城）

《検討の経緯》 満場一致で承認した。

以上

出席理事・監事
会　　長　中村耀
専務理事　沖敬三

※ネットで出席
副 会 長　熊谷正司、岡澤誠、清水隆司、谷川聡、宮﨑真
理　　事　渡辺辰美、向井一澄、熊谷晴樹、尾形文貴、中島博、樋貝浩久、鈴木將人、齋藤秀勝、吉岡新、原田大輔、武川優、笹岡誠、中村盟、高橋広好、岡達也、岸徹、中越忠男、本村豪経、池邉寛
監　　事　東海林正博、鈴置誠
臨　　席　稲満信祐（東京･港)､岩下浩幸（福岡)､米田和秀（関東複写＝斎藤隆正理事の代行）

欠席理事・監事
副 会 長　岡本泰
理　　事　斎藤隆正
監　　事　前沢寿博

JaGra News

業・界・の・動・き

ジャグラ関連｜日印産連｜印刷業界全般｜行政情報 etc.

日印産連

知的財産権ページをリニューアル

日印産連 Web サイト

ジャグラなど印刷関連 10 団体で組織する日本印刷産業連合会（以下、日印産連）は、同会 Web サイトの「知的財産権」のページのリニューアルを行い、知的財産権の基本的事項をとりまとめた「印刷業務に関わる知的財産の全体像」と、印刷会社の実務上で起こり得る知的財産に関するトラブルのケースに合わせ、未然防止のための施策を Q&A 形式で紹介する「こんなときどうする ?! 知的財産アドバイス」を新たに配信する取り組みを始めました。

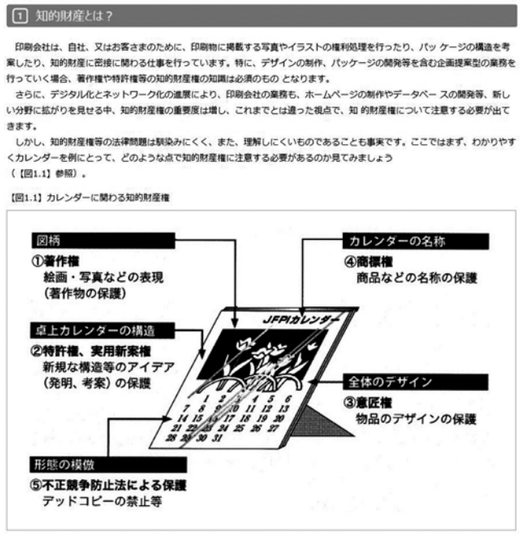
×

日印産連は 2010 年以来、知的財産権に関する啓発を目的として、印刷業務で日常起こりうるトラブルを想定した課題研究を行っており、その研究結果を同会機関誌「JFPI REPORT」において、「こんなときどうする ?! 知的財産アドバイス」と題し、様々な事例を取り上げ、詳しい解説とアドバイスとともに連載しています。

この連載で 2015 年 4 月号から 2019 年 7 月号までに紹介された 18 事例と、法令改正に従い内容を見直した知的財産権に関わる基本的事項とをとりまとめたガイドブック「印刷会社のための こんなときどうする ?! 知的財産アドバイス Vol.2」を昨年 8 月に発行しましたが、今回の「知的財産権」Web ページリニューアルにおいては、同ページトップに、この Vol.2 に掲載されている「印刷業務に関わる知的財産の全体像」をほぼ丸ごと掲載しました。著作権のほか、特許権・実用新案権、意匠権、商標権、肖像権と、不正競争防止法に関わる基本的な知識が簡潔にまとめられています。

今後は、傘下団体 Web サイトから簡単に閲覧できるようにするためのバナーリンクの設定等を行い、更に使い勝手の良いページになるよう、取り組みを進めていく予定とのことです。

●日本印刷産業連合会 Web サイト「知的財産権」
https://www.jfpi.or.jp/topics_detail6/id=79



リニューアルした日印産連「知的財産権」Web ページより

凸版印刷

開館 20 周年記念で印刷博物館をリニューアル

書籍『日本印刷文化史』も出版

凸版印刷㈱が運営する「印刷博物館（東京・文京区）」は開館 20 周年を記念して常設展示の刷新工事が進められてきましたが、10 月 6 日にリニューアルオープンしました。

×

2000 年に設立された印刷博物館は、デジタル化により失われつつあるアナログ技術や表現を保存・伝承する役割を担ってきましたが、今回のリニューアルで常設展示を大きく刷新されました。

●リニューアル概要

◎従来のテーマ展示から時系列展示へと展示内容を一新し、印刷の流れを明快に体感できるようになりました。

◎日本の印刷史をメインテーマに、古代から現代にいたる印刷文化史を中心にご紹介。

◎展示室を３つのゾーン「印刷の日本史」、「印刷の世界史」、「印刷×技術」から構成。

●詳細

◎**印刷の日本史**――全体を「古代・中世」、「近世」、「近代」、「現代」の４つの時代区分にわけ、各時代の印刷を語るうえで欠くことができない 16 のテーマを設定しました。有名な歴史的事象と関連付けながら、各々の時代で特徴ある印刷文化をご紹介しています。

◎**印刷の世界史**――高さ４メートルの壁が 20 メートル続く、一大年表。世界史において印刷が社会に与えてきた影響をグラフィカルに伝えています。年表の下部には資料展示ケースを設置、印刷物の進化も見て取ることができます。

◎**印刷×技術**――「印刷の日本史」「印刷の世界史」のゾーンで伝えきれなかった印刷技術に焦点をあて、技術の違いが表現の違いに直結していることが理解できる展示になっています。

●当面は事前予約制

リニューアルオープンなった印刷博物館ですが、コロナ禍の影響により、当面は同館 HP よりの事前予約制となっておりますので、ご注意ください。

印刷博物館の概要
住　　所：東京都文京区水道 1-3-3 トッパン小石川ビル
電　　話：03-5840-2300
開館時間：10:00 ～ 18:00 ／入場は閉館の 30 分前まで
休 館 日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始、展示替え期間
料　　金：一般 400 円 / 学生 200 円 / 高校生 100 円 / 中学生以下・70 歳以上無料
そ の 他：入館は事前予約制

●書籍『日本印刷文化史』を出版

リニューアルオープンにあわせ、20 年間の調査研究成果を元に、新たな学問「印刷文化学」を立ち上げ、その最初の取り組みとして、書籍『日本印刷文化史』が講談社から出版されました。古代から現代まで、日本で起きた歴史的事件と印刷出版文化の関係を、本編 22 章と 6 つのコラムで紐解いています。また、同館所蔵の名品を一覧できる『印刷博物館コレクション』も同時刊行されました。

×

【概要】 日本において「印刷」は、社会に、文化にどのような役割を果たしてきたのか。最古の現存印刷と言われる、『続日本紀』にも記された法隆寺の「百万塔陀羅尼」から始まり、木版、金属による活版、写真植字機の誕生、現代のコンピューター組版まで、1200 年を超えて発展し続ける印刷の歴史を、個人の趣味・鑑賞から出版業の誕生、マスコミへの発展、行政・教育・学術に果たした役割を通し、技術の変遷・発展とともに体系立てて振り返る。印刷博物館創設 20 周年記念出版。

講談社 刊
単行本 346 ページ
価格：2200 円

Notice

｜お｜知｜ら｜せ｜

Adobe Flash Player のサポートが今年いっぱいで終了

― Flash を使用しているウェブサイトは早急に移行を進めてください ―

アドビ社より、本年 12 月 31 日をもって Flash Player の配布と更新を終了することがアナウンスされました。

×

Flash のサポート終了を受け、Microsoft Edge、Google Chrome 等、各ウェブブラウザーも対応を発表し、12 月 31 日以降は Flash をデフォルトで無効化するとしています。Flash の脆弱性を突いた攻撃に対応するセキュリティアップデートも配布されなくなるため、期間を過ぎても Flash を使用したウェブサイトを公開し続けた場合、サイト運営者は信用を失墜させる危険性があります。自社サイトにて Flash を使用している場合は、年末までに Flash を取り除くよう、早急に移行の準備を進めてください。

● Flash の代替

Flash の移行にあたって、代替手段として考えられる技術に「HTML5」や「JavaScirpt」が挙げられます。HTML5 は、W3C から 2014 年に正式勧告された HTML 規格で、ウェブ上で利用されるビデオや音声情報をプラグイン不要で再生可能とします。JavaScript はウェブページに動的な要素を追加するために使用されるプログラミング言語で、インタラクティブコンテンツや、アニメーション効果などが作成可能となります。

Flash を HTML5、JavaScirpt で再現するには、専門知識が必要ですので、自社での対応が難しいと判断される場合、専門業者へご相談いただくことをおすすめします。

Adobe Flash

ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和３年に幅弓之助が創業しました。
創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から 100 年に向けて今なおショーワの社員一人一人に DNA として脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21 世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション＆リサーチ
SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動
○研修会　○工場見学　○総会・幹事会
○会報・メールマガジンの発行　○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで
SHOWA会事務局　TEL.03-3263-6141　FAX.03-3263-6149

株式会社ショーワ
プリントメディアの総合商社
http://www.showa-corp.jp/

〒101-0065 東京都千代田区西神田２丁目７番８号　TEL 03-3263-6141（代）　FAX 03-3263-6149

連　載

協力：NPO 法人 日本自費出版ネットワーク

我が社の自費出版事情

第2回：㈱清水工房・揺籃社（東京・三多摩）https://www.simizukobo.com/
村上直 著『論集 代官頭大久保長安の研究』ほか

同社・編集部　**山﨑領太郎**

プライベート出版という域を超え、昨今では社会問題など幅広いカテゴリーをカバーしている「自費出版物」。先月号からスタートした、ジャグラ会員の「自費出版」への取り組みを紹介する連載の第２回目は、「ＮＰＯ法人日本自費出版ネットワーク」設立当初から、その中心となって活動していただいている㈱清水工房（東京・三多摩）さんにご寄稿いただきました。

×

コロナ禍における当社の自費出版事業

2020 年９月末日現在、新型コロナウイルス感染症はあらゆる分野に未だに大きな影響を及ぼしています。当社ももちろん例外ではなく、例年受注していたイベント関係の印刷物（チラシ、ポスター、プログラム、チケットなど）は軒並みゼロとなってしまいました。秋になってやや回復の兆しが見られますが、厳しい状況には変わりありません。

そのような苦境にあって、自費出版事業だけは底堅く推移しています。むしろ、相談数が増えているほどです。例年ですと大小取り混ぜて、年間で約 40 冊の本を手掛けますが、現状ですでにこの数に達しつつあり、残り３か月で、もしかしたら 50 冊の大台に乗るかもしれません。東京の隅っこ八王子の、こんな小さな会社にしてみれば、奇跡のような数字です。

その背景として、ステイホームを強いられた結果、思いがけず時間ができ、これまで書き溜めた原稿や作りっぱなしになっていた製作物を本にしてまとめておこうと思い立つ方が多くいらっしゃったからのように感じています。

また、執筆を始めたけれど、どのように進めたらよいかとか、亡き父の作品をまとめたいから相談に乗ってほしいなどの、本作りの出発点に立ったばかりの方からの問い合わせも多くなっています。

村上直 著
『論集 代官頭大久保長安の研究』揺籃社
A5判 448ページ＋口絵4ページ 上製
2800円＋税
同社HP・アマゾン他で購入可能です

八王子の町を作った大久保長安

さて当社では、創業者の清水英雄がその立ち上げに深く関わっていた関係上、日本自費出版文化賞に第１回から応募を続けています。当社発行の書籍は、著者の了解を得た上でほとんど全てを応募しています。しかも、手数料は当社持ちで。

最終選考を勝ち抜いた、いわゆる入賞作品はこれまで９作ありますが、個人的に思い入れの深い本が、村上直（むらかみただし）先生の『論集 代官頭大久保長安の研究』です。2014 年の第 17 回で研究・評論部門を受賞しました。

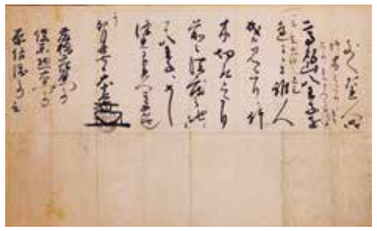
大久保長安（おおくぼながやす）は、戦国時代末期から江戸時代初期にかけて、主に民政の面で活躍した代官頭です。石見銀山と佐渡金山の生産量を飛躍的に伸ばし、結果として開府したばかりの江戸幕府に財政面での安定をもたらしました。それ以外にも、火事で焼けた府中の大國魂神社の社殿再建、奈良の春日大社の庇護、岐阜の鵜飼や伊豆の三番叟（さんばそう）といった文化面の保護、青梅や桐生の町立て（町作り）、重い年貢に苦しむ農民の訴えを聞き入れた減税措置など、全国各地にその足跡を残しています。

猿楽師の息子として生まれた長安は甲斐の武田家に

伝大久保石見守長安坐像
（木像 / 新潟・大安寺蔵）

大久保長安が奉納したと
いわれている能面３点
（島根・城上神社蔵）

長安が寄進したと伝わる頭巾
夏用・冬用
（島根・城上神社蔵）



高尾山の竹木の伐採を禁じた長安の制札
（東京・高尾山薬王院蔵）

仕えたのち、徳川家康の配下に入ります。そんな長安にとって、ここ八王子は第二の故郷ともいえる場所。というのも、1590 年（天正 18 年）に豊臣秀吉によって天下が統一されると、長安は八王子の町を新たに作るよう家康に命じられたからです。

長安は盆地に町を作るに当たり、まずは暴れ川で氾濫ばかりしていた浅川の流れを大きく変え、両岸に石見土手と呼ばれる堤や、水が溢れた際の逃げ道として遊水池を多数設けました。これにより町民は安心して暮らせるようになり、町は安定的に発展できたといわれています。昨年の台風 19 号では、浅川は溢れる寸前で持ちこたえました。400 年前の長安による治水工事のお蔭と思われます。

他にも、店舗の間口を揃えた商業都市としての空間的配慮、甲州街道や一里塚の整備、高尾山の竹木伐採禁止のお触れ、いざというときに武士として活動できる半農半士の八王子千人同心の組織化、信玄の娘で八王子まで逃れてきた信松尼（松姫さま）の養護など、八王子における業績は枚挙にいとまがありません。

市内にいまも鎮座する産千代稲荷神社は長安の勧請で、かつて采配を揮った代官屋敷の敷地内にあったと伝えられています。境内には江戸期から続く井戸が残されています。実際に長安が水を汲んだかもしれず、歴史のロマンを感じさせてくれます。

これだけの経歴を持ちながら、なぜか巷間にほとんど知られていないのが長安の不思議なところです。諸説ありますが、あまりに切れ者過ぎたためか、あるいは派手好きな面が嫌われたのか、死後、家康によってお家断絶の憂き目に遭ってしまいました。７人の息子たちは全員、切腹させられています。それゆえ、特に代官屋敷のあった八王子では口の端に上らせるのも禁忌されるような時代が長く続きました。多くの文書も焼かれたらしく、長安の人となりを伝える史料は大変乏しくなってしまいました。現代ではすっかり忘れられた存在となってしまったのです。

大久保長安を町おこしに活用

法政大学文学部教授として長く教鞭を執られた村上直先生は、日本近世史研究の泰斗です。江戸幕府における代官の役割や幕藩制社会成立とその後の展開についての研究で第一級の仕事を残されました。先生はそれら本業の研究の傍ら、なかなか表に出てこない長安の史料を、現地取材を重ねながら丹念に掘り起こし、ときおり大学の紀要や学会誌に発表されていました。しかし、それらがまとめられて１冊になる動きはないまま、ほぼ忘れられた論文となっていました。

それらを見つけ出したのが、長安を通じた町おこしを画策していた歴史好きのおじちゃん、おばちゃんたちでした。2013 年が長安の死後 400 年に当たることから、事績が残る石見、佐渡、奈良から研究者を招き、ここ八王子で、村上先生を中心としたシンポジウムを開催しようと計画していたのです。私がその会合に呼ばれたのは、2012 年２月ごろだったと思います。

集まりで配布された趣意書には、シンポジウム開催に加え、恒常的なお祭りの設置と書籍発行が大目標として掲げられていました。この３本柱のうち、書籍発行の大役が私に任されたのです、初参加のその日に。

村上先生はご健在ではありましたが、ご高齢で、編集や校正作業は無理という状態でした。また、どこに書き散らしたかを覚えているはずもなく、まずは論文を集めるところから始めねばなりませんでした。私はウェブで論考の在り処を調査したのち、国会図書館に都合３回出かけ、せっせとコピーを取りました。確か 30 本くらいの論考があったと思います。それらから特に重要なものを、村上先生のお弟子さんに選抜していただき、次に会のメンバーが入力作業を行いました。

組版に着手できたのは 2012 年の秋も深まったころ。シンポジウムで販売するためには、どうしても翌年４

◎小説
山岩淳 著
『大久保長安　家康を創った男！』
B6判 112ページ 並製
1000円＋税

◎絵本
吉田美江 文・長野美穂 絵
『長安さまのまちづくり
―八王子のまちをつくった大久保長安―』
A4判 28ページ 上製
1800円＋税

◎ブックレット
村上直・馬場憲一 ほか共著
『大久保長安に迫る
―徳川家康の天下を支えた総代官―』
A5判 64ページ＋口絵16ページ 並製
900円＋税

月までに仕上げねばなりません。慣れない古文書の用語と悪戦苦闘しながら、ようよう仕上がったのは、シンポジウム開催の２日前。奥付の印刷日がシンポジウムの開催日、発行日は長安の命日という念の入れようでした。

大久保長安の評価を覆す

仕上がった論集は、これまでほとんど知られずにきた大久保長安の全国での活躍が網羅的に収載された、長安を知る上での基礎的資料となりました。面白いのは、史料の掘り起こしによって、歴史的事実が明らかになるだけではなく、その人間性までもが詳らかになっていったところです。長安は確かに、伝聞の通り金使いが荒く、派手好きだったのかもしれません。しかし、本書にあるように、鉱山の開発に取り組む山師たちの待遇改善に一役買ったり、信頼できる奉行には多くの仕事を任せて独り立ちさせたり、町に出ては平民たちとの語らいを忘れないなど、庶民目線の公平な代官という印象が随所に窺えます。

それは八王子市民にとっても新たな発見として映ったようです。シンポジウムや論集によって、これまで悪代官だと思っていた長安の辣腕ぶりに驚いた市民は多く、見直す動きが出てきました。市も呼応するように郷土資料館で特別展を開催し、また市内の事跡を巡るスタンプラリーも実施されました。いまでは長安＝悪代官と思う市民はかなり減ってきた印象です。

当初の３本柱の残りの一つ、長安のお祭りも、命日の４月 25 日近辺の土日に、産千代稲荷神社で続けられています。午前中は長安の御霊を鎮めるお祓いがしめやかに行われ、午後にはお囃子やお神輿、模擬店が出て賑やかな１日となります。子どもたちもたくさん集まります。

論集に触発されて、その後、ブックレット、絵本、小説も当社から出版されています。こうした流れに花を添えてくれたのが、自費出版文化賞の受賞でした。

本によって蘇る

冒頭で自費出版の相談件数が増えていると書きましたが、それら相談者（ほとんどがご高齢の方たち）のお話を何度も聞いていると、瞳の奥や声音の底から、ある共通した感覚がそこはかとなく伝わってきます。それは、わが身にも死が迫っているという微かな焦燥感です。それを明確に口にする方はいらっしゃいませんが、世界での死者数が何十万人だとか、今日はどこそこで何人の感染者だというようなニュースを連日耳にしているうちに、いまここで何かを残しておかなければいけないという思いに突き動かされるのでしょう。

長年、ラジオ番組の司会などで親しまれた永六輔さんは、「人間は２度死ぬ。１度目は肉体の死。２度目は、誰かの思い出の中で生きている私を思ってくれる人が１人もいなくなった時」と、ことあるごとに語っていたそうです。

しかし、２度目の死を迎えた人が、もし本を著していたとしたらどうでしょう。誰も思ってくれる人がいなくなっても、いつか誰かが本を手に取り、その人を思うようになる可能性はあります。そのとき死者は蘇ります。永さん理論を当てはめれば、本を残した人は死なないわけです。関連文書を焼かれた長安でさえ復活したのですから。多くの人が直感的にそのことに気付き、本を残そうとしているのではないでしょうか。

コロナによるパンデミックは確かに災厄です。一方で、必ず迎える死について、誰しもが真剣に考え、適切に恐れる機会を提供してくれたともいえます。１日１日をしっかりと生きていく大切さに気づかせてくれたのです。大切だからこそ、何かを残そうとする気持ち。これはもう人間の根源的な欲求なのでしょう。

自費出版はその願いに応えられる、身震いするほどステキな仕事であり、それに従事する自分がいかに幸せかを思わずにはいられません。

版画と謄写とこれから

第 5 回：ロウ原紙を求めて

Atelier 10-48 主宰 / 版画家 神 﨑 智 子

「謄写版の版画とは何か」と聞かれるたびに、私は「和紙の版画です」と答えるようにしています。それほど謄写版にとって和紙・ロウ原紙はヤスリよりも重要かと私は考えているからです。1894 年、堀井新治郎父子によって日本での謄写版の物語がはじまります。父子は謄写版という製版の仕組みよりもまずは原紙の特許を取得する様子から、この印刷術の要が原紙であることを見抜いていたと思えます。なにより雁皮紙という極薄で漉くのに高度な技術が伴う和紙が、原紙の重要性を気づかせてくれることでしょう。

×

原型：前回のタイプ原紙の記事に登場した『The story of a little wheel that started a big revolution（ゲステットナー小史）』、和紙との運命的な出会いを果たしたゲステットナーの物語にはロウ原紙についても書かれています。ゲステットナーが実際に TAKAMATSU（雁皮紙）によるロウ原紙の特許を取得したのは 1885 年ですが、取得前の 1880 年に「ワックスステンシルの製版、印刷方法、（ただし仮）」という特許を出しています。またその後すぐ 1881 年にイギリスで「ワックスペーパーに書くためのツール」という特許取得もあることから、1885 年以前にロウ原紙の存在も窺えます。

それは 1877 年、ズッカートのトリポグラフの存在です。トリポグラフも薄い紙にワックスがけをした原紙を使用したと記述されています（※ 1）。ただ、トリポグラフは「薄い紙 (thin paper)」という記述であり、ゲステットナーが使用していた和紙つまり典具帖紙や雁皮紙を表現するときは「ティッシュ (tissue)」と表記しています。このことから、最初の鉄ヤスリによる謄写版「トリポグラフ」の原紙は私たちがイメージしているロウ原紙とはなんだか違うように思えます。

その後、A.B. ディック社「エジソンのミメオグラフ」にも原紙として「ロウ引きされた和紙」が使われ、堀井父子による謄写版に受け継がれていくのです（※ 2）。

今なお残る美濃原紙：さてそれから 120 余年後の現在、ロウ原紙の生産を行っているのは僅かとなり、その一つは昭和紙工になります。大きな謄写版原紙産地として「土佐（四国）」「美濃（岐阜）」が挙げられますが、それは同時に雁皮紙の産地でもあります。ただ、同じ雁皮紙の産地でもある「越前（福井）」などは謄写版原紙に適した「薄葉」ではないため、先の 2 大産地が原紙生産地として代表されるわけです。

昭和紙工がある岐阜神洞という地域は、謄写版全盛期、一帯の世帯が原紙生産を営んでいたとのこと。朝早くから夜遅くまで生産体制をとっていた謄写版産業も衰退してしまった今なお、唯一頼れる原紙生産社として原紙生産しています。

90 度に温められたロウの化合物が入ったバットが一体となったロウ引き機には、手回しのシリンダーが付いていて、一人が手回しで薄い雁皮紙を挟み・紙をロウ付け、もう一人はロウ付けした原紙を引き出す作業を行います。このロウ引き機の特徴は美濃のもの（①）。この神洞で育ったロウ引き家庭の子供たちは親の手伝いとして原紙を引き出す作業を行っていたようです。ロウ引き機は原紙を挟みこめるような構造で、太さの違う 2 本のシリンダーは細い方のシリンダーにはロウの塗布具合を調整するために「典具帖紙」が巻き付けられています（②）。原紙を引き出すと、すぐにロウは乾燥し次々と重ねておくことができます（③）。現在残っているのはこの手引きのロウ引き機となりますが、全盛期には全自動機もあったようです。

もう一人の原紙を求める人：京都精華大学で現在謄写版の授業を行っていることを、書籍『謄写版のこれまで・これから』で紹介しました。担当の高橋亨教授も昭和紙工を頼りにしている一人。文字のデザイン授業の一環で謄写版を用いるためオリジナルのロウ原紙作成を行い、準備を行っています（④）。

授業発起当初、ガリ版伝承館の協力の下、道具の調達などを行っていましたが、伝承館から提供される原紙は（全国から寄贈していただいている背景もあり）品物が一定でないこともあり、自作の罫線入りの原紙を製作することになりました。先に記したように昭和紙工では罫線印刷は行えないため、雁皮紙のような薄葉の紙に活版印刷による印刷が必要になってきます。

東京飯田橋にある印刷博物館では活版印刷のためのスペースがあり、そこに在籍している嘱託の活版職人さんによって雁皮紙への罫線印刷が可能となりました（⑤）。印刷した生紙を昭和紙工にてロウ引きしてもらい、授業のためのオリジナル原紙が出来上がります。学生が使う原紙は 4mm と 5mm の罫線ものと無地の 3 種類（⑥）。現在、博物館内の薄葉用の印刷機が使えなくなったため、昭和紙工紹介の他の場所で刷ってもらうことで、継続してこの授業を行っているそうです（⑦）。

堀井のロウ原紙再現：今、インターネットで公開されている期限切れの特許の中には、堀井謄写堂が取得した原紙の特許もあり自由に観覧できます。それを基に私の書籍では原紙の製作方法も記載いたしました（※3）。

堀井謄写堂では大きく分けて 2 種類の製作方法があり、素材の安全性や個人で比較的容易に再現が可能である参考としたのは堀井の特許最終版（特許第 12672 号・特許切れ 1910 年）（⑧）。最高級と言われる「四国原紙」の素材も特定できましたが、紹介するには個人や家庭環境では再現が難しい素材でありました（⑨）。

昭和紙工では 2 人引きの「ロウ引き機」を使用していますが、私は刷毛によるロウ引きを紹介しています（⑩）。というのも実は、堀井の特許に丁寧にも刷毛でのロウの塗り方まで書かれていたのです。15 年の販売独占をしていた堀井ではありますが、容易に再現ができる内容を残していたことには驚きです。

ガリ版伝承館によると全国から集まった謄写版原紙は 20 万枚を越えたのではないかと伺っています。制作するには十分な数ではありますが、版画のための原紙の調査を行う必要がどうしてもありました。

日本ではどうにか頼れる昭和紙工やガリ版伝承館がありますが、私の活動を知った海外の人など素材が容易に手に入らないときには自分で作り出すことも必要になってきます。無いものを作り出すことは、他版種でも同様に行われています。版画を制作するにはこういった仕事も必要になってきます（⑪）。もしくは、私の恩師の一人である木版画の巨匠・黒崎彰の「常に研究者であれ」という教えも、私の中で一連の素材研究に影響しているのかもしれません。

（次号は一回休載とさせていただきます）

①昭和紙工に残る
2 人引き「ロウ引き機」

②息ぴったりの連携作業

③手際良く原紙を
すっと引き揚げ重ねて置く

④書家 石川九楊先生も関わる書道にフォント
そして謄写版文字のための授業である

⑤活版印刷による罫線印刷の様子

⑥罫線を印刷する版も
オリジナルの樹脂版

⑦自身のガリキリ文字を持つ学生

⑧堀井特許第 12672 号

⑨ 3 種類の作成方法で実験の様子　ロウ化合物の配合にも夫々特徴があった

⑩簡単な材料と道具で行う

⑪自作原紙を使い
小さな作品も制作している

④～⑦写真提供：高橋享教授

高橋享教授に原紙製作についてのインタビューを行った様子を Facebook 上で公開しています。
◎謄写版インタビュー「京都精華大学 ビジュアルデザイン学科 高橋享教授」/ON AIR TO-SHA #11
https://www.facebook.com/watch/?v=940405999777036

※1 W.B プラウドフート著『The Origin of Stencil Duplicating』P46 §The Trypograph
※2 【イベント情報】「ガリ版の道具たち展」 滋賀・東近江のガリ版伝承館で 11.7 から 12.6 まで開催 （月火休館）。エジソンの原紙も展示されます。問い合わせは 090-3268-3134（事務局・田中）
※3 詳しい制作方法は書籍『謄写版のこれまで・これから』P159 https://shop.10-48.net/product/2168/

10-48
TOMOKO KANZAKI
TO-SHA

Schedule

事務局日誌と今後のスケジュール

9 月の事務局日誌

3 日　プライバシーマーク現地審査（栃木）
4 日　全国中央会　臨時総会（都内）→委任状
9 日　プライバシーマーク現地審査（北海道）、日印産連法令制度部会（日印産連 Web 会議）→沖専務、総務委員会（WEB 会議）
14 日　マーケティング委員会（Web 会議）、SPACE-21 幹事会（Web 会議）
15 日　日本自費出版文化賞受賞作品発表会（吉祥寺・東急 REI ホテル）→中村会長・沖専務・事務局
16 日　総務委員会（本部）、拡大理事会（本部＋ Web 会議 ）、印刷の月・式典（ホテルニューオータニ）→中止
17 日　プライバシーマーク審査会（本部）
18 日　広報委員会（本部＋ Web 会議）
23 日　経営技術研究委員会（WEB 会議）
24 日　プライバシーマーク現地審査（香川）
28 日　プライバシーマーク現地審査（大阪）
29 日　プライバシーマーク現地審査（大阪）、日印産連価値創出委員会（日印産連 Web 会議）→沖専務
30 日　日印産連企業行動委員会（Web 会議）→沖専務、生産性向上委員会（Web 会議）

10 月のスケジュール

1 日　プライバシーマーク現地審査（神奈川）
2 日　ジャグラ BB 委員会（Web 会議）
5 日　ジャグラコンテスト専門委員会議（Web 会議）
6 日　プライバシーマーク現地審査（新潟）
7 日　プライバシーマーク現地審査（新潟）→延期、ジャグラ BB ／オンラインセミナー
14 日　プライバシーマーク現地審査（長野）
14 日　日印産連ステアリングコミッティ・専務理事連絡会議（日印産連会議室＋ Web 会議）→中村会長・沖専務
16 日　広報委員会（本部＋ Web 会議）
19 日　プライバシーマーク現地審査（大阪 ）
20 日　プライバシーマーク現地審査（大阪 ）、SPACE-21「ZOOM あそび」セミナー（Web 会議）
21 日　Adobe MAX2020 オンラインセミナー（初日、23 日まで開催）、生産性向上委員会（Web 会議）
26 日　プライバシーマーク現地審査（愛知）
27 日　プライバシーマーク現地審査（愛知 ）、Web 座談会打合せ（㈱クイックス）→岡本副会長・谷川副会長・並木事務局長・事務局
28 日　経営技術研究委員会（Web 会議）
29 日　プライバシーマーク現地審査（千葉）

11 月のスケジュール

2 日　プライバシーマーク審査会（本部）
4 日　プライバシーマーク現地審査（石川）
5 日　プライバシーマーク現地審査（石川）
6 日　SPACE-21 全国大会（鹿児島）→中止
7 日　SPACE-21 座談会（高知）
9 日　プライバシーマーク現地審査（大阪 ）
10 日　プライバシーマーク現地審査（大阪 ）
13 日　拡大理事会（Web 会議）、Web 座談会（本部）、全国協議会（東京ドームホテル）→中止
14 日　全国協議会（東京ドームホテル）→中止
18 日　プライバシーマーク現地審査（山梨）
26 日　プライバシーマーク現地審査（大分 ）
28 日　自費出版表彰式（アルカディア市ヶ谷）→中止

事・務・局・便・り

11 月に予定していた全国協議会が中止となりました。大変残念ですが、代わりに緊急ジャグラ座談会をジャグラＢＢで配信することになりました。1 部はデジタルやインターネット技術を活かした会員企業の皆様にお話を聞きます。2 部は私たちの原点である印刷物にこだわって、地域密着にこだわって商売をされている皆様にお話を聞きます。皆様コロナ禍で大変な状況だと思いますが、座談会ではご商売に活かせるヒントがあると思いますのでご期待ください。（K.N）

月刊 グラフィックサービス
GS No.827 2020 10

月刊『グラフィックサービス』827 号

■ **発行日**　令和 2 年 10 月 10 日（毎月 1 回）
■ **発行人**　中村　　耀
■ **編集人**　清水　隆司
■ **発行所**
一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会　略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16
ＴＥＬ 03-3667-2271
ＦＡＸ 03-3661-9006
ＷＥＢ https://www.jagra.or.jp/
ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です
■ **編集部**　メール edit@jagra.or.jp

◎ **企画：ジャグラ広報委員会**
委 員 長　清水　隆司 / 副会長
委　　員　中村　　耀 / 会長
田中　秀樹 / 東京・城東
米田　和秀 / 関東複写
斎藤　　成 / 東グラ専務理事
沖　　敬三 / 専務理事
外部委員　藤尾　泰一 / ㈲インフォ・ディー
事 務 局　阿部奈津子
守田　輝夫
◎ **原稿・編集・校正：ジャグラ事務局ほか**
沖　　敬三　並木　清乃　阿部奈津子
今田　　豪　守田　輝夫　酒井　玲子
長島　安雄　（以上、ジャグラ事務局）
斎藤　　成　（東京グラフィックス / 広報委員）
藤尾　泰一　（㈲インフォ・ディー / 広報委員）
日経印刷㈱　（校正のみ）
◎ **渉　外**　並木　清乃　守田　輝夫
◎ **広　告**　酒井　玲子
◎ **Ｗｅｂ**　阿部奈津子
◎ **動　画**　今田　　豪

◎ **組版 / デザイン**　㈲インフォ・ディー
組　版 ＝ Adobe CS6/CC ほか
フォント ＝ モリサワ OTF/ モリサワ BIZ+ ほか
UD FONT by MORISAWA
※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています
◎ **製版 / 印刷**　日経印刷㈱（東京・千代田支部）
ＲＩＰ ＝ 大日本スクリーン Trueflow
ＣＴＰ ＝ 富士フイルム XP-1310R
刷　版 ＝ 大日本スクリーン PT-R8800ZX
印刷機 ＝ ハイデルベルグ社 SM102-8P
インキ ＝ DIC
用　紙 ＝ 三菱ニューＶマット FSC-MX 菊判 62.5kg
※本誌は FSC 森林認証紙（管理された供給源からの原材料で作られた紙）と LED-UV インキ（リサイクル対応型）を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。https://www.nik-prt.co.jp/

Copyright 2020 JaGra ／禁無断引用
※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。原則、TM や®マークは省略しています。
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします。

ジャグラBB
JaGra Broadband Contents Service
HOTNEWS
2020年10月号

ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2005年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

登録方法ご案内

ジャグラBBに登録すると200タイトル以上の番組をご視聴いただけます。
https://www.jagrabb.net

サイト右上の新規登録をクリックしてください。

メールアドレスを入力して仮登録を申請します。

すぐにメールが届きますので案内の URL をクリックします

登録する会員情報をフォーム入力してください。

内容を確認して送信すれば登録完了です。

登録した PW でログインして番組をお楽しみください。

スマホの方はこちらから
簡単にご登録いただけます。

登録方法をムービーにまとめました。是非ご覧ください。
カテゴリー　ニュース　ジャグラ情報

今月のおすすめ番組

▷最新情報はWEBをチェック

生産性向上は働き方改革であり経営改善である
（2019年ジャグラ全国協議会セミナー）
講師：稲満信祐氏
カテゴリー　セミナー　経営者向け

ドローン絶景空撮
「うつくしき秋田」
カテゴリー　BBネットワーク　支部・地協発信情報

リコーRi100で
簡単オリジナルマスク制作
が出来た!
カテゴリー　ニュース　ニュース・業界情報

リョービMHI
グラフィックテクノロジー株式会社

菊全印刷に新風を

RMGT970
誕生

いまの環境社会に適合するために、もっとも大切なことはなんでしょうか？

地球や環境にやさしく、それでいて生産性が高い、新時代の菊全印刷機を開発しました。

新開発の RMGT 970 は、最大紙寸法 650×965 ㎜（最大印刷寸法 640×930 ㎜※1）。

菊全判用紙やK判用紙に、ジャストサイズです。

さらに、メイクレディから試刷り、本刷りまでをノンストップで行える自動印刷機能※2 により、

印刷準備時間の短縮や稼働率の向上を実現します。

菊全判印刷機 RMGT 970 が菊全印刷に新しい風を吹き込みます。

※1 片面印刷時の仕様です。両面印刷時は 630×930mm
※2 スマートアシストプリンティングのオプション名称で開発中

Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
〒726-0002　広島県府中市鵜飼町 800-2　TEL 0847-40-1600
https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/

● 発行　一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
TEL 03-3667-2271　FAX 03-3661-9006　https://www.jagra.or.jp/
● 年間購読料 12,000円＋税（会員の購読料は会費に含む）
● Copyright 2020 JaGra